

## 令和7年度岩手県工業用水道事業会計決算概要

○ 令和7年度の工業用水道事業会計決算は、**経常収益10億3千8百万円余**に対し、**経常費用は15億1千9百万円余**で、**経常損益は4億8千1百万円余の赤字**（前年度比8.1%の改善）、**純損益は4億8千1百万円余の赤字**（前年度比2.7%の改善）となった。

### 1 令和7年度損益

(税抜、単位:千円)

科目	年度 令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	比較	
			増減額 (A-B)	増減率 (A-B) / B
経常収益	1,038,060	939,887	98,173	10.4%
経常費用	1,519,709	1,464,161	55,548	3.8%
経常損益	<b>△481,649</b>	△524,274	42,625	<b>8.1%</b>
特別利益	—	(※1) 29,667	△29,667	皆減
特別損失	—	(※2) 452	△452	皆減
純損益	<b>△481,649</b>	△495,059	13,410	<b>2.7%</b>

(※1) 包括外部監査の指摘等を踏まえ、特別利益（修繕引当金取崩）を計上

(※2) 包括外部監査の指摘等を踏まえ、特別損失（電話加入権の減損処理）を計上

### 2 経常収益の状況

ユーザー企業の契約水量の増による基本使用水量・実使用水量の増に伴い、**料金収入が増**（7千6百万円余）となったこと等により、前年度比9千8百万円余（10.4%）増の**10億3千8百万円余**となった。

### 3 経常費用の状況

複数年周期で実施する工業用水道設備の**点検整備等業務の増に伴う委託費の増**等により、前年度比5千5百万円余（3.8%）増の**15億1千9百万円余**となった。

### 4 経常損益、純損益の状況

以上の結果、**経常損益は前年度比4千2百万円余（8.1%）の改善となる4億8千1百万円余の赤字**、**純損益は前年度比1千3百万円余（2.7%）の改善となる4億8千1百万円余の赤字**となった。

なお、第二中期経営計画に掲げる経営目標に対する実績は次のとおりとなった。

区分	経営目標	実績	増減	備考
経常収支比率	65%	68.3%	3.3ポイント	経営目標を達成

### 5 工業用水の供給・収入状況

区分	年度 令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	比較	
			増減量(額) (A-B)	増減率 (A-B) / B
基本使用水量(千m <sup>3</sup> )	17,168	15,483	1,685	10.9%
実使用水量(千m <sup>3</sup> )	11,090	10,070	1,020	10.1%
超過水量(千m <sup>3</sup> )	91	55	36	65.5%
料金収入(千円)	967,929	891,492	<b>76,437</b>	8.6%

<1m<sup>3</sup>当たりの給水単価>（平成23年4月1日から）

(税抜)

料金種別	工業用水料金の額	超過料金の額※
基本使用水量(基本料金)	42円	35円
使用水量(使用料金)	3円	3円
超過水量(超過料金)	90円	—

※超過水使用の場合は、工業用水料金に加算